



発行日 2007年 12月 14日 第24号

発行 札幌歯科医師会口腔医療センター

〒064-0807札幌市中央区南7条西10丁目

TEL (011) 512-9497 FAX (011) 511-2272

<http://www.dnet.or.jp/center>

E-mail omc-s@dnet.or.jp

発行人 菊田 浩一 発行責任者 藤田 一雄

口腔医療センターにおける摂食・嚥下 リハビリテーションについて

—摂食嚥下機能に障がいがある患者さんが安全に食事を摂取できるために—



口腔医療センター障がい者診療部 渡辺 浩史

当センターでは、これらの患者さんに対して少しでも食事の手助けができるように、摂食・嚥下リハ外来でリハビリテーション(治療や指導を含みます)を行っています。

このリハ外来は、毎月第1と第3土曜日の午後2時30分から5時まで行っています。

実際のリハビリテーションは、幾つかの項目に答えていただく問診から始まります。続いて水を飲んでもらう簡単なスクリーニング検査や実際の食事の様子を診察します。これらが基本検査で、痛みや苦痛がなくとても簡便に行えることが利点です。

これらの検査に加えて、必要ならばのど(咽頭部)の部分を内視鏡カメラで観察したり、レントゲン造影検査等の精密検査を行う場合があります。リハビリテーションの内容は患者さんの症状によって千差万別ですが、患者さんの状態にあわせて無理がないように、複数の担当の先生が綿密に指導内容を決めています。また、全身管理を十分に行い、かかりつけの医科主治医と連携をとりながらリスクが起きないように進めています。

当初は発達機能に障がいがある患者さんのリハビリテーションが中心でしたが、現在はお年寄りの患者さんも多く来院されています。

治療は数回で終了する患者さんや数年にもわたって長期間フォローアップしている患者さんがいらっしゃいます。

その中で、リハ外来を開設した平成10年以来リハビリテーションを継続している脳性麻痺患者さんは、初診時は6歳でした。その当時はほとんど咬むことが出来ず、すぐにむせやすい状態でした。しかしながら患者さんご家族の努力で、むせずに奥歯で咬むことが出来るようになりました。食事の状態は体調や環境に左右されやすいので、現在も定期的にリハビリテーションを行っていますが、安心して食事を食べることが出来るようになり、ご家族の方々には喜んで頂いています。脳梗塞後遺症で障がいをもたれた患者さんや老化のために食事に制限がなされたため来院されている患者さんもいらっしゃいます。

その中でむせやすく飲み込みが悪いご老人がいらっしゃいました。この患者さんは肺炎を繰り返して発症していました。大学病院にも通院されていましたが改善されませんでした。当センターで摂食・嚥下リハビリテーションを行い、おいしく食事を食べることが可能になり、肺炎を起こさなくなりました。これは飲み込みが悪いために肺に食物を誤嚥し、肺炎になっていたのが改善されたためでした。現在もお元気に生活されているそうです。

以上が摂食・嚥下リハビリテーション外来の紹介ですが、もしご家族やお知り合いの方に食べることに何らかの悩みをお持ちの方がいらっしゃいましたらスタッフまでお気軽にお尋ね下さい。

さて最後となりますが、9年前この摂食・嚥下リハビリテーション外来を開設した当時と現在を比較すると様々な変化がありました。当初発達機能障がい者(児)が主な患者さんでしたが、急速で加速する高齢化社会に対応して高齢者の障がいを持たれた患者さんが増加しています。

また我が国や北海道・札幌の財政状況も変化し、患者さんの負担は増加し、当センターへの財政補助も厳しい状態となってきました。

しかしながら患者さんやそのご家族の方々に喜んでいただけるように、この摂食・嚥下リハビリテーション外来をはじめとして、当センターでは担当医とスタッフで努力していく所存です。



『紙の魔術師☆アキちゃん』



『アキちゃん』こと、カリヤ アキオさん。

診療室と待合室を、たくさんの折り紙で飾ってくれているのがこの『アキちゃん』。

四季折々の折り紙を折っては持ってきてくれるのです。受付で仕事をしていると、待合室で順番を待っている時間を使い折り紙を折っているアキちゃんが良く見えます。今日は何を折っているのかな？

そんな事を考えながら仕事をしていると、『はい、これ松山様に差し上げます。これは竹内様に、そしてこれは藤原様に差し上げます』と、今折ったものを差し出して来るのです。

折り紙で折ったスイカだったり、お花だったりその時のアキちゃんの気分に合わせて違う作品をくれるアキちゃん。スタッフそれぞれから笑みがこぼれる瞬間です。

アキちゃんに聞いてみました。

『アキちゃんは何で折り紙を折って持ってきてくれるの？』

するとアキちゃんからこんな言葉が返ってきました。

『ここに来る患者様や子供達に、これを見て和やかな気持ちになって頂きたいのです』

と。。。(スタッフ感動！！)

アキちゃんのその気持ち、しっかりと皆さんに届いているはず！！

アキちゃん、いつもありがとう。。。

これからも、色々な作品を見せてくださいね ！





口腔医療センターについて 小野聖恵

私の口腔医療センターは、小さいときから通っている歯医者さんです。

小さい時、歯医者に行くのが嫌いでした。

定期健診と、治療をしながら

ギャーアギャーア。°。(◁□▷。)°。°と、泣いていました。

今は、歯医者に行くのがすごく楽しみです。

それは、竹内さんとか、松山さんとか、カッコイイ先生(田村先生)と

治療をしながら話をしているからです。

私は、松山さんのことを『まっちゃん』と呼んでいます。

皆は、私の事を小さい時からずっと『キータン』と呼んでくれています。

私はこれからも、虫歯ができない様に歯磨きを頑張ってやりたいと思います。



札幌市立陵陽中学校 職業体験実習を終えて

佐藤愛香さん

今回、職場体験先の口腔医療センターでいろんな体験が出来て良かったです。
患者さんの歯の治療を実際に見る事が出来たのでとても貴重な体験になりました。
他にも10円玉を磨いたり、自分の指の形をとったりと普段出来ないような事が出来たのもすごく楽しかったです。
先生や歯科衛生士の方々やスタッフの方々が設備の事や治療の事、その他にもいろんなお話をたくさん聞く事が出来て良かったです。皆さんを見ていて思った事は、とてもフレンドリーで楽しそうだし仕事がしやすそうだなあと思いました。
口腔医療センターに訪問する事が出来て本当に良い経験になりました。
今後の進路決定の参考に役立てたいと思います。



土屋彩花さん

先日は、口腔医療センターを訪問させていただきありがとうございました。
今回経験した事、教わった事全てが鮮明に覚えています。
障がい者のための歯科というのは初めてで、治療をしているところを実際に見たときは正直、痛々しくて黙って見ているのが精一杯でした。
しかし、衛生士のみなさんを見ていると笑顔で患者さんを励ましていて、さすがだなあと思いました。
体験では、実際に治療に使う道具で10円玉を磨かせていただいたり指の型をとらせていただき、私にとって大変貴重な経験となりました。
私達が分からない事や、疑問に思った事を北大の先生や、衛生士さんは丁寧に教えてくださってとても勉強になりました。
今回の学習を通して、自分の将来への視野が広がり歯科医師になろうという夢がいつそう強くなりました。
貴重な体験を本当にありがとうございました。

障がい者歯科新人歯科衛生士の紹介

はじめまして。もう何度かお会いしている方もいらっしゃるかと思いますが、8月よりお世話になっている秋田智絵と申します。勤務してから早いもので2ヶ月経ちますが、センターにいらしてる患者さんは皆さん明るく元気な方々ばかりなので、元気を貰って励みになっています。私にもダウン症の弟がいて私の家族も弟を中心に話題があり、その雰囲気楽しく大好きなので、皆さんと関わるのも毎日とても楽しいです。まだまだ慣れないこともあり迷惑をかけてしまうこともあるかもしれませんが、精一杯頑張りたいと思いますので、これからどうぞよろしくお願い致します。

秋田智絵さん



伊藤裕美さん

6月から口腔医療センターで働くことになりました 伊藤裕美です。障がい者診療部には学生時代の実習で2週間お世話になり衛生士としてだけではなく、たくさんのことを学びました。私の心に一番残っている『人に対して優しい気持ちで接すること 心からの笑顔を見せ素直に言葉にすること それは難しいけどとても大切なこと』を日々胸に忘れないようにしています。卒業してからは一般診療所で働いていましたので、新しい職場で不慣れな点もありますが、先輩スタッフをはじめ 患者さんや保護者の方々 施設の方に教えられ支えられて毎日少しずつですが成長しています。早くたくさんの患者さんに顔を覚えていただけるように一生懸命がんばります。どうぞよろしくお願い致します。

救急診療部からのお知らせ

夜間の歯の痛みなど、救急処置を目的として
います。継続的な治療は受けられませんので
ご注意ください。

診療のご案内

診療時間 : 19:00~23:00

受付開始時刻 : 18:30

年中無休

電話番号 : (011)511-7774

障がい者診療部からのお知らせ

障がい者診療部は完全予約制になってお
ります。

診療のご案内

予約時間 : 火~金 9:15~17:15

診療時間 : 月 14:00~17:00

火~土 9:30~17:00

金 9:00~17:00

(午前中は全身麻酔下診療)

電話番号 : (011)512-9497

だんだんクリスマスとお正月が近づいてきました。
子供の頃と違ってプレゼントやお年玉をあげる側になってしまいましたが、
それでもなんだかウキウキします。
でもあんまりウキウキして年賀状を後回しにし、最後で大慌てしないよう
にと今年こそは思います。

編集長 企画研修部 部長 中澤 潤

ばるすは口腔医療センターホームページからもご覧になれます。

<http://www.dnet.or.jp/center>